

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2019年7月25日～2019年7月31日)

令和元年(2019年)8月2日

H E A D L I N E S	
政治 クフチンスキ下院議長の政府専用機使用をめぐる問題 下院事務局による全国裁判所評議員推薦者リスト非公開 野党「市民連立」(KO)の下院選挙区筆頭候補者の発表 パキスタン空軍参謀長の統合全般司令部訪問 フォン・デア・ライエン次期欧州委員長のポーランド訪問 在欧州米軍副司令官の統合全般司令部訪問 ヨルダン軍訪問団の統合作戦司令部訪問 トランプ大統領, 8月31日にポーランドを訪問の予定 マース独外相のポーランド訪問	<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。 問合せ先: 大使館領事部 電話: 22 696 5005 Fax: 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
治安等 シチェチンで発生した聖職者暴行事件 外国人在留者数の増加 同性婚等に関する世論調査結果 レストランにおける要人の会話盗聴事件に関し公安庁が最高裁に資料請求 ポーランド・米国セキュリティ対話の実施 南欧からの集団不法移民の流入状況 ポーランド・ウクライナ国境での中東系不法移民らの摘発	
経済 個人所得税改正法案による歳入への影響 モラヴィエツキ首相, 税負担の低減につき言及 2020年予算案 6月末時点の財政収支 スタンダード・アンド・プアーズによるポーランド経済見通し 5Gに関する動向 中国化粧品市場への期待 空港関連動向 港湾インフラの増強動向 機能性飲料関連動向 EUにおけるエネルギー転換基金の創設の可能性 米国からの液化天然ガス輸送 液化天然ガスに関する調達多様化戦略	
大使館からのお知らせ 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い 国際機関への就職に関心がある皆様へ 大使館広報文化センター開館時間文化行事・大使館関連行事	
在ポーランド日本国大使館 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp	

政 治
内 政

クフチンスキ下院議長の政府専用機使用をめぐる問題【7月25日、29日】

25日、野党「市民プラットフォーム」(PO)所属のニトラス下院議員は、クフチンスキ下院議長が複数回にわたり私用の国内移動に政府専用機を使用し、移動に親族を同乗させていたと指摘し、費用の返還と辞任を要求した。26日には野党会派が同下院議長の解任動議を提出するなど、野党が本問題をめぐり下院議長を厳しく追及している。

29日、下院広報局は、2015年の就任以降、同下院議長の23回の政府専用機利用に家族が同乗しており、同利用は如何なる法規定にも反しないとし、また、同下院議長が同日、慈善団体に1万5,000ズロチ(約45万円)の寄付を行ったと発表した。

下院事務局による全国裁判所評議員推薦者リスト非公開【7月25日、29日】

30日、下院事務局は、昨年選出された全国裁判所評議会(KRS)評議員の推薦者リストに関し、個人情報保護局の通知を受け、同リストを公表しないと

発表した。本問題をめぐっては、7月16日に最高行政裁判所が下院に同リストの公表を命じる判決を言い渡しており、30日とその公開実施の期限となっていた。KRS評議員の立候補には裁判官25名の推薦が必要とされており、野党等は推薦者リストや手続きに瑕疵があった可能性を指摘し、下院に判決の遵守を求めるなど追及を強めている。

野党「市民連立」(KO)の下院選挙区筆頭候補者の発表【7月30日】

30日、スヘティナ「市民プラットフォーム」(PO)党首は、本年秋に実施予定の議会選挙における、一部野党の選挙連立である「市民連立」(KO)の下院41選挙区の各筆頭候補者を発表した。スヘティナPO党首は、ワルシャワ選挙区の筆頭候補者として出馬し、連立を組むルブナウエル「近代」(Nowoczesna)党首は同選挙区の第二候補、ポーランド・イニシアティブのノヴァツカ代表はグディニヤ選挙区の筆頭候補者として出馬予定である。

外交・安全保障

パキスタン空軍参謀長の統合全般司令部訪問【7月22日】

22日、ハン・パキスタン空軍参謀長がミカ統合全般司令官を訪問し、飛行訓練や装備運用に関する意見交換を行った。なお、パキスタン空軍との防衛交流は、2013年が最初の年とされる。

フォン・デア・ライエン次期欧州委員長のポーランド訪問【7月25日】

25日、フォン・デア・ライエン次期欧州委員長がポーランドを訪問し、モラヴィエツキ首相とEUの今後について協議し、非常に多くの問題におけるポーランド側の期待は大部分で満たされたと述べた。また、法の支配問題に関し、同首相は、次期委員長との協議では取り上げられなかったとし、本件は前任期から続く一人の欧州委員の不必要な感情で満たされてきたものであり、可及的速やかに終了すべきであるため自身からも言及しなかったと強調した。同首相はまた、次期欧州委員候補としてシュテルスキ大統領室長(首席補佐官、大統領府国務次官)を提案したと述べた。

在欧州米軍副司令官の統合全般司令部訪問【7月25日】

25日、ジャラード在欧州米軍副司令官及びブルックス米任務指揮構成部隊指揮官がミカ統合全般司

令官を訪問し、統合全般司令部の任務、組織及び将来の軍インフラ拡張計画、並びに在ポーランド米軍の訓練について意見交換を行った。

ヨルダン軍訪問団の統合作戦司令部訪問【7月26日】

26日、ヨルダン軍フネイティ准将がピオトロフスキ統合作戦司令官を訪問し、同司令部の任務、指揮及び現在従事している海外任務について説明を受けるとともに、双方の経験等及び二国間関係の協力強化について意見交換を行った。

トランプ大統領、8月31日にポーランドを訪問の予定【7月30日】

7月30日、シュテルスキ大統領室長は、本年8月31日から9月2日にトランプ米国大統領がポーランドを訪問し、9月1日にワルシャワで開催される第二次世界大戦勃発80周年記念式典に参加すると発表した。同大統領のポーランド訪問は2017年7月以来。

マース独外相のポーランド訪問【7月31日】

7月31日、マース独外相がポーランドを訪問した。チャプトヴィチ外相は、同訪問はワルシャワ蜂起記念式典にドイツの最も重要な政治家が参加する伝統の継続であり、両国の近い関係及び両国がより広

範かつ重点的な対話を重視する意義の証左であると述べた。外相会談では、次期欧州委員長の選出を含む欧州問題、歴史に関する二国間関係、東方パートナーシップ等について協議された。またチャプト

ヴィチ外相は、本年6月にポーランド・ドイツ円卓会議が開催されたことは喜ばしく、次の11月の同会議も有意義なものとなると期待していると述べた。

治 安 等

シチェチンで発生した聖職者暴行事件【7月28日】

28日、シチェチンのローマ・カトリック教会内に暴漢3人が侵入し、教会内にいた同教会の聖職者及びカトリック教会職員を暴行して逃走した。逃走した3人は物取り目的で教会内に侵入したとみられ、まもなく警察官に拘束された。

外国人在留者数の増加【7月30日】

外国人局の発表した統計によれば、2019年上半期に在留許可(residence permit)を受けポーランドに在留している外国人の総数は約40万人で、2019年1月1日時点の数値から約2万7,000人増加した。国籍別に見ると、ウクライナ、ベラルーシ、ジョージアの在留者が多い。また、同局は、ウクライナ人長期在留者の増加を指摘しており、同数は、2019年1月1日時点の数値から12%増加し、20万人超となった。

同性婚等に関する世論調査結果【7月30日】

世論調査機関IBRISが実施した調査によれば、ポーランド人の多くは同性婚等に否定的な見解を有しており、同性間パートナーシップについては46%、同性婚については56%がよく思わないと回答した。また、同性婚カップルによる子どもの養育についても、76%が強い反対を表明した。同結果について、ワルシャワ大学教授で政治学者のラファウ・フェドルク氏は、ポーランドでLGBTの権利を容認する政治戦略を立てることが不可能であることを証明したものと述べ、ポーランドでは同性婚カップルによる子どもの養育はタブーであり、LGBTIに関するトピックは下院入りを目指す政治家には触れられない案件となっていると指摘した。

レストランにおける要人の会話盗聴事件に関し公安庁が最高裁に資料請求【7月30日】

ジェチポスポリタ紙は、7月中旬に公安庁(ABW)が、最高裁に当地の富豪でビジネスマンのマレク・ファレンタによる政治家の会話盗聴事件に関する資料を請求したことが明らかになったと報じた。同請求によれば、ABWは、2018年3月14日から外国情報機関への協力の容疑(刑法130条1項)で本件に関する捜査を行っていると言われる。同事件は、2013年から2014年にかけて、ファレンタが給仕2人と共謀して、ワルシャワ市内のレストラン Sowa & Przyjaciele で政治家等の会話を秘密裏に盗聴・録音

したもので、同録音が流出したことで政治スキャンダルとなった。ABWは同請求を行った理由を明らかにしていないが、ファレンタとロシア情報機関との関係を念頭に置いた捜査を行っていると言われている。

ポーランド・米国セキュリティ対話の実施【7月31日】

ヴィテク内務・行政大臣は、ノイマン米国土安全保障省次官補と会談し、安全保障や米国が進めている対ポーランド査証免除等に関して協議した。ヴィテク大臣は、米国は安全保障分野でポーランドの最も重要なパートナーの1つと述べ、両国民の保護を目的とした両国警察間の協力に関し、ポーランドはオープンな立場と述べた。また、対ポーランド査証免除に関し、ヴィテク大臣は、米国側の取組に全面的に協力すると述べた。内務・行政省によれば、ポーランドは米国が設定する査証免除要件のほとんどを既に満たしていると言われる。両国は最近、重犯罪に対する抑止・対策を目的とした協力強化に関する協定を締結しており、同協定が米国による査証免除の重要要件の1つとされる。

南欧からの集団不法移民の流入状況【8月1日】

国境警備隊は、ポドカルパツキエ県で、貨物輸送トラックの荷台に潜み密入国を試みたアフガニスタン人3人を拘束した。3人は、コソボから、セルビア、ハンガリー、スロバキアを経由してポーランドに垂鉛を運ぶトラックに潜み密入国を企てており、コソボもしくはセルビアで運転手の目を盗んで密航したと言われている。国境警備隊によると、南欧からポーランドへの外国人集団密入国事例は今年に入って4例目とされ、トラックやバスの荷台に潜んで密入国する手口が用いられている。密入国者の国籍は、アフガニスタン、ベトナム、アルジェリア等となっている。

ポーランド・ウクライナ国境での中東系不法移民らの摘発【8月1日】

国境警備隊は、ルベルスキエ県内のポーランド・ウクライナ国境付近でトルコ人、イェメン人、バングラデシュ人、イラク人密入国者を拘束した。このうちトルコ人については、密入国あっせん業者(トルコ人)の手引きで密入国したことが判明しており、最終目的地はドイツであった。

経 済

経済政策

個人所得税改正法案による歳入への影響【7月26日】

現在審議中の個人所得税改正法案によると、基本税率の現行18%から17%への引き下げや控除額上限の引き上げにより、2019年の歳入は27億ズロチ減少することが見込まれている。このうち、13億ズロチが政府予算で、残りは地方政府や公的医療基金が占める。

モラヴィエツキ首相、税負担の低減につき言及【7月29日】

モラヴィエツキ首相は、メディアからの個人所得税率の引き下げや26歳以下を対象とした個人所得税の免税に続き、更なる減税措置の可能性があるかという質問に対し、特に低所得者層を対象に、

税負担を低減させるべくあらゆる手段を尽くしたいと回答した。同首相は、これらの措置は、ポーランドの若者が国内に留まり、もしくは一時的に海外で就労経験を積んだ後に帰国することを促すと述べた。

2020年予算案【7月29日】

2020年予算案では、防衛省予算が対前年比11.6%増となる一方、投資・開発省や企業・技術省等の歳出は2019年水準に凍結される見込みであるという。また、年金予算が68.6億ズロチ増となるほか、個人所得税の改正及び社会保障関連費300億ズロチ、与党「法と正義」の選挙公約の実施に400億ズロチを要することが見込まれている。

マクロ経済動向・統計

6月末時点の財政収支【7月26日】

財務省によれば、6月末時点の財政収支は歳入1,922億ズロチ、歳出1,972億ズロチで50億ズロチの財政赤字となった。

スタンダード・アンド・プアーズによるポーランド経済見通し【7月29日】

格付け会社スタンダード・アンド・プアーズは、ポーランドの2019年のGDP成長率見通しについて、前回発表時の3.9%から4.1%に予測を上方修正した(2020年については前回予測から変更なく3.1%と予測)。

ポーランド産業動向

5Gに関する動向【7月25日～30日】

25日、中国・華為技術(Huawei)通信戦略担当課長は、ポーランドの5G技術の開発情報・データを政府関係者に共有する準備があると述べた。公正な競争ルールの下、内外無差別を望んでおり、デジタル省との対話があれば、情報開示も含めてオープンな立場であることを付言した。また、30日の経済新聞 Parkiet 紙によれば、ポーランド電気通信庁(UKE)は、3.6GHzの通信割当入札は2020年6月以降に延期されるとの見通しを示した(当初は2020年4月を予定)。通信関連法案改正に関し、同庁とデジタル省との間で調整がつかないことを遅延理由としている。

中国化粧品市場への期待【7月28日】

ポーランドの化粧品メーカーは、中国市場での売上げ拡大に期待を示している。ポーランド貿易・投資庁(PAII)のジュヒニエビチ上海事務所長によれば、今後バイオ化粧品等の分野の成長が見込まれるとしている。また、同事務所長は、既にポーランドの化粧品メーカーMiraculumとBe Organicが

中国への製品輸出に関する長期契約を締結しているとも述べた。

空港関連動向【7月29日】

昨年のワルシャワ・モドリニ空港の利用者は300万人以上にのぼり、今後も増加が見込まれ、同空港の拡張が検討されている。しかし、当初、国営空港会社(PPL)は、5,000万ズロチ程度の投資で一時的なターミナルの増設を行い、利用可能人数を600万人とすることを検討していたものの、採算性等の観点から難色を示し始めている。関係者の間では同空港拡張の遅れを懸念する声もあがっている。

港湾インフラの増強動向【7月29日】

ポーランド北西部のシフィノウィシチェ港及びビシチェン港の鉄道接続に係る開発契約(15億ズロチ相当)が締結された。海事経済・河川交通省によれば、同契約によって従来の2倍の貨物輸送が可能になるとされる。なお、バルト海沿岸の港湾については、グダンスクやグディニヤでも港湾の増強が

機能性飲料関連動向【7月30日】

日本とポーランドが共同で設立した栄養補助食品の開発・製造等を行う Nomi Bitech は、ポーランドの Black Pearls 基金が実施するスタートアップ企

業支援プログラムから、100万ズロチの補助金を受け取ることとなった。同補助金は、同社が開発したアルコール関連の機能性飲料の小売店や飲食店への導入に関するものとされる。なお、同社は、ポーランド国立研究開発センターの補助金も受けている。

エネルギー・環境**EUにおけるエネルギー転換基金の創設の可能性【7月26日】**

モラヴィエツキ首相は、ラジオ・カトヴィツェにおいて、低炭素経済への転換はポーランドの優先事項であると述べ、ポーランド南部は重工業・鉱業に依存しているが、EU気候変動目標は、費用負担を考慮していないと主張した。また、同首相は、先日のフォン・デア・ライアン次期欧州委員長との会談で、雇用創出のための新規投資に貢献するエネルギー転換基金について意見交換した旨述べた。

米国からの液化天然ガス輸送【7月26日】

米国の液化天然ガス会社 Cheniere Energy から16万5,000m³の液化天然ガスがポーランド北西部のシフィノウィシチェのガスターミナルに輸送された。2018年にポーランドのガス会社PGNiGと米国の Cheniere Energy の間で締結された長期ガ

ス輸送契約に基づく初めての輸送となる。ドゥダ大統領は、同契約は24年間に及ぶ計画であり、2019年から2023年は米国からの液化天然ガスの輸入量が52万トンであるのに対し、2023年から2042年には2,900万トン(年間約145万トン)の液化天然ガスが米国から輸入される見込みとしている。

液化天然ガスに関する調達多様化戦略【7月31日】

ナウムスキ・エネルギー戦略インフラ委員は、国営ポーランドラジオで、米国からの液化天然ガス輸入に関し、露ガスプロム社との長期契約価格よりも20%~30%安価であり、ポーランドのガス調達先分散戦略は成功したと述べた。また、同委員は、ロシアとの契約に関し、2022年以降の延長は行わないと述べた。

大使館からのお知らせ**長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意**

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

(注):シェンゲン協定とは、シェンゲン協定加盟国の域外から同加盟国域内に入る場合、最初に入域する国において入国審査が行われ、その後のシェンゲン協定域内の移動においては原則として入国審査が行われないといった協定です。

○シェンゲン協定域内国(2019年7月現在):26か国

アイスランド、イタリア、エストニア、オーストリア、オランダ、ギリシア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、マルタ、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、リヒテンシュタイン

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL)の台頭以降、一般市民等のソフトターゲットを標的としたテ

口が相次いで発生しており、今後も更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

国際機関への就職に関心がある皆様へ

在ポーランド日本国大使館では、国際機関への就職に関心がある日本人の方を対象に、外務省国際機関人事センター作成の資料を配付しています。御希望の方は、大使館広報文化センターへお問い合わせください。

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22-584-73 00, Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

文化行事・大使館関連行事

【予定】折紙ワークショップ【8月7日(水) 17:30】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、子供・大人向け折紙ワークショップが開催されます(ポーランド語のみ)。入場は無料です。参加登録：info-cul@wr.mofa.go.jp。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp、

住所：Al. Ujazdowskie 51(4階), Warszawa)

【予定】欧州相撲選手権大会・国際ポーランド相撲選手権 Poland Open 2019・ポーランド相撲連盟 15周年【8月9日(金)～10日(土)】

クロトシにて、ポーランド相撲連盟主催による『欧州相撲選手権大会・国際ポーランド相撲選手権 Poland Open 2019・ポーランド相撲連盟 15周年』が開催されます。

開催場所: クロトシン, クロトシン市立公園

詳細: <http://www.pzsumo.org/>

【予定】日本文化祭「夏」【8月23日(金)~24日(土)】

ノヴェ・ミアスト・ルバヴスキエにて、ノヴェ・ミアスト・ルバヴスキエ市文化センター所属の青年グループ主催による『日本文化祭「夏」』が開催されます。演劇「妖怪」と「桃太郎」、日本料理ワークショップ、漫画デモンストレーション、茶道の紹介、書道・折り紙ワークショップ、コスプレなどが予定されています。

開催場所: ノヴェ・ミアスト・ルバヴスキエ, バラ庭園(Ogród Róż)

詳細: <https://www.facebook.com/Przetw%C3%B3rnia-San-Przystanek-Japonia-377422962838929/>

【予定】V4+JAPAN交流展 美は国境を越えて【8月26日(月)~10月31日(木)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、日本、チェコ、ハンガリー、ポーランド作家による交流展が開催されます。入場は無料です。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51 (4階), Warszawa)

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス (newsmail@wr.mofa.go.jp)